

意見書案第 29 号

米の生産と供給に責任を持つ安心の農業政策への抜本的転換を求める意見書

上記の意見書を次のとおり提出します。

令和 6 年 9 月 26 日

大津市議会議長

幸 光 正 嗣 様

提 出 者 杉 浦 智 子

柏 木 敬 友 子

小 島 義 雄

米の生産と供給に責任を持つ安心の農業政策への抜本的転換を求める意見書

全国的にスーパーの店頭等で米の入手が困難になり、価格が高騰する状況が発生し問題となっている。天津市内においても同様に、買占めが起きないよう購入の制限がされているもののすぐに売り切れており、市民からは「販売店を何軒回っても米が店頭にない」「ようやく5kgを1袋買えたものの、育ちざかりの子がいるので全然足りない」など、不安と困惑の声が多く上がっている。主食である米は毎日の食事や生活に欠かすことができないものであり、米の不足や価格高騰は市民生活に多大な影響を与え、とりわけ生活弱者にしわ寄せが集中する事態となっている。

農林水産省は、米の需要や生産に関する現状や見通しについて、インバウンドが好調だったことに加え、パンや麺など、ほかの食料品に比べると値上がりが緩やかだったことなどから、需要が伸びたのではないかとの見解を示している。さらに、本格的に新米が出回る前の端境期で、もともと在庫が少なくなっていたところに、お盆期間の前後に地震や台風などに備えて米を買いだめする動きが出たことが、スーパーなどでの品薄に拍車をかけた可能性も指摘している。新米が出回り始めれば、スーパーなどでの品薄も次第に解消に向かうと見込むが、主食の米が購入できない状況は異常事態であり市民の不安は募っている。

今年6月末時点の米の民間在庫量（速報値）は156万トンで、前年同時期と比べ41万トン少なく20%の減少となった。比較可能な1999年以降、過去最低の水準である。さらに、7月の全国消費者物価指数で米類は、前年同月比17.2%上がり、20年ぶりの上昇率となった。僅かな需給の変化で価格が乱高下する現状は自由競争の結果であり、米農家の経営ばかりか、国民生活を不安定化させている。

よって国及び政府は、不作や国際的な需給変動があっても、国民が安心して国内産米を食べ続けられるよう、主食である米の需給と価格、農家の所得安定に責任を持つよう以下の事項について強く求めるものである。

記

- 1 米不足となった実態を把握し関係者の声を聞くこと。
- 2 政府備蓄米の活用も含め、生産者団体や流通・小売業界と協力し、店頭に必要な米が出回るよう対策を講じること。これにより生産者に価格の変動による不利益を生じさせないよう対策すること。

- 3 農家への所得補償や生産された米の価格保障を抜本的に充実し、大多数の農業者が安定して生産を続けられる条件を整えること。
- 4 格差と貧困対策として、フードバンクや子ども食堂などへの備蓄米支給について、支援が行き渡るよう制度を改め、都道府県・市区町村に申請窓口を設けること。
- 5 食糧自給率の向上を含めて、国として生産と供給に責任を持った米政策・農業政策へと転換すること。

以上、地方自治法第 99 条に基づき意見書を提出する。

令和 6 年 9 月 26 日

大津市議会議長 幸 光 正 嗣

内閣総理大臣
厚生労働大臣
農林水産大臣
衆議院議長
参議院議長 あて